

## H26 年度受講者募集案内

鳥インフルエンザは人獣共通感染症で、H5、H7 亜型のウイルスは家禽類、哺乳類に時に甚大な被害をもたらすことから、家禽の感染は法定伝染病に指定され、早期摘発と殺処分が求められている。また、このウイルスによる家禽の感染は、人感染の温床にもなることから、公衆衛生上からも農場監視の強化が求められている。また、アジアでは 1997 年以降、高病原性の H5 亜型ウイルスが家禽農場に定着しており、これが温床となって野生カモ類が感染し、その渡りによって周辺国へウイルスが持ち込まれ、養鶏場での発生につながると考えられている。日本でも、2004 年、2007 年、2008 年、2010 年、2014 年に H5 亜型の高病原性ウイルスの感染が鶏と野鳥で確認され、大きな被害をもたらしている。

日本では、2011 年に家畜伝染病予防法が改正され、リアルタイム PCR 法が全国の家畜保健衛生所に導入され、鶏の病性鑑定や野鳥のサーベイランスの迅速化が可能になった。

実習では、鳥インフルエンザの病性鑑定に使われている技術を習得すると共に、鳥インフルエンザを取り巻く最近の情勢について講義を受け、獣医師の役割を学ぶ。

**日 時** : 2014 年 12 月 26 日(金) 午前 9:00～午後 5:00

**場 所** : 麻布大学獣医学部棟 3 階 実習室 2

**募集人数** : 6 名(各大学 1～2 名)

### 実習内容: 診断技術の習得

Practical I 鶏気管スワブの採取と発育鶏卵を用いたウイルス分離

Practical II A 型インフルエンザウイルスの同定

Practical III 血清学的検査(HI 試験)による HA 亜型の判定

Practical IV リアルタイム PCR(SYBR)法による分離ウイルスの HA 亜型の判定

Practical V リアルタイム PCR(Probe)法による H5, H7 亜型ウイルスの検出

### 講義内容: 鳥インフルエンザを取り巻く最近の情勢(30 分間)

**スケジュール**: 8:30～ 受付 獣医学部棟 3 階 303, 304 ゼミ室

8:40 開講式、実習内容の説明

9:00～12:00 実習

[昼食]

13:00～16:30 実習

16:30～17:00 講義

17:00 閉講式

**持参品** : 白衣、スリッパ、昼食・飲み物、ノート・鉛筆

**旅費等** : 各自で負担